

京都府地域創生戦略（素案）

基本理念

「京都流 地域創生」

～文化と生活の価値創造を京都から～

- 京都府では少子・高齢化や過疎化が進展。府南部地域では人口が増加する地域もある一方、特に府北部地域や相楽東部地域は人口流出が著しく、府全体として人口が減少。このまま少子・高齢化や人口減少に歯止めがかからなければ、将来にわたって活力ある京都を維持することは困難との認識
- この要因の一つには、東京一極集中、利便性重視の都会暮らし志向、大量生産・大量消費型の経済など、日本社会の様々な面での価値や文化の固定化が挙げられる。
- 真の地域創生実現のためには、固定化し時代に合わなくなってきた文化を打破し、新しい価値や文化を生み出すとともに、多様で、柔軟で、ダイナミズムにあふれた社会の中で、誰もが持てる能力を発揮し、生き活きと暮らせる社会の創出が必要
- 京都には、伝統文化をはじめとした多様な文化、大学や高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など他の地域にない魅力的な資源や資産が存在。さらには、府内各地で様々な交流基盤が実を結ぶ時代が到来
- 「京都流 地域創生」とは、京都が持つこうした特性を踏まえ、
 - ① 府内各地において育まれてきた京都の文化力を活かした新しい文化を創造する
 - ② 大学のまち・京都の力を活かして、人づくりや産業振興を進める
 - ③ 海、山、森などの豊かな自然と発達した都市という両面を持ち、かつ近接しているという特性を活かして新しい暮らしをつくる
 ことに、府民、産、学、公、金融機関、労働団体、NPOなどのオール京都で取り組み、この国の未来を見据えた京都ならではの新しい文化と生活の価値創造を行う。
- こうした京都流地域創生により、京都の未来を拓く人をつくり、地域経済を活性化させてしごとをつくり、京都への人の流れをつくり、新しい交流の中で持続可能で活力のある地域をつくることで、京都から地域を、そして日本を変える真の地域創生に全力を挙げて取り組む。

基本目標

次の4つの基本目標に沿って、地域創生に資する各般の施策を推進する。

- ◆基本目標1 京都の未来を拓く人をつくる
- ◆基本目標2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる
- ◆基本目標3 京都への人の流れをつくる
- ◆基本目標4 持続可能で活力のある地域をつくる

戦略の実施期間

平成27年度から平成31年度までの5年間

推進にあたって

◆市町村との緊密な連携

各市町村は、「明日の京都」地域振興計画の方向性と地域の実情を踏まえつつ、地域の特性や資源等を活かした実効性のある地域創生戦略の策定・推進に取り組むこととし、府は、広域的見地から、人的支援、子育てや教育などの社会的基盤整備等に取り組むものとする。

◆公民融合による行政のイノベーション

小さな拠点づくりにおける官民サービスの融合、PFIの活用、府民・行政・企業・大学・NPOなど様々な主体との連携・協働など、公民融合により行政のイノベーションを図り、地域創生時代の新たな公共サービス提供のしくみをつくる。

◆人口減少時代への的確な対応

人口減少に真正面から向き合い、観光をはじめとした交流の拡大、地域経済を支えるサービス業等の生産性の向上、地域コミュニティの再編など人口減少時代に対応した新たな視点に立った施策に積極的に取り組む。

◆PDCAサイクルの確立

各基本目標における数値目標、重要業績評価指標（KPI）に基づき、取組の効果を定期的に検証するとともに、社会経済情勢や府内の状況変化に対応して、適時戦略の見直しを行い、絶え間なく施策のイノベーションに取り組む。

注：各基本目標における数値目標、重要業績評価指標（KPI）等については、最終版に記載

■基本目標1 京都の未来を拓く人をつくる

非常事態ともいえるべき少子化の進行に歯止めをかけるとともに、京都の未来を拓く人を育成するため、一人ひとりのライフデザイン^(※1)の形成、子育て世帯向け住宅を含めた子育て支援のあり方、社会における働き方など、様々な分野において多様で柔軟な施策を推進

施策内容

1 子育てに関する多様なライフデザインの実現

若い世代のライフデザイン教育を充実するとともに、結婚や子育てをしながら大学生活を送るなど、多様なライフデザインの選択を可能とする子育て環境、男女ともに生き活きと働ける環境を整備

(1) 若い世代のライフデザインの形成・実現

- 生徒・学生に対するライフデザイン教育の推進
- 婚活に対する総合的な支援

など

(2) 多様なライフデザインに対応した子育て環境づくり

- いつでもどこでも保育園構想の実現（大学内保育など多様な利用者ニーズに応える保育サービスの整備）

など

(3) ワーク・ライフ・バランスの実現

- 多様な働き方を導入する中小企業への支援
- 企業における優良事例の普及・啓発

など

2 多子世帯をはじめとする子育て世帯の支援

「夫婦子ども2人の標準モデル世帯」が少数世帯となる中、多世代同居・近居の促進や経済的負担軽減などにより、多子世帯をはじめとする子育て世帯を総合的に支援

(1) 子育てしやすい住環境の整備

- 多子世帯向け府営住宅等の供給
- 京のファミリー住宅総合支援制度などの創設（リフォーム助成など3世代同居・近居世帯への支援）
- 子育てにやさしい住宅ガイドラインの作成

など

(2) 多子世帯を支える子育て世帯の経済的な負担軽減

- 多子世帯の保育料の助成

- 子どもの医療費・教育費などへの助成
- 子育て支援総合融資制度などの創設 など

- (3) 子どもを産み育てる希望の実現
- 不妊治療・不育治療費の助成 など

3 絆社会による子育て文化の醸成

家族はもとより、企業、NPOなど多様な人々の絆により、社会全体で子育てを支援する社会文化を醸成

- (1) 産前・産後の子育て支援
- 妊娠期から子育て期にわたるまでの妊産婦の様々なニーズへ対応する仕組みづくり
 - 産前・産後ケア専門員や訪問支援員の養成 など

- (2) 待機児童・学童ゼロの実現
- 地域ニーズに合わせた保育所、放課後児童クラブなどの整備
 - 保育人材の養成・確保 など

- (3) 子育てを応援する地域社会づくり
- 子育て支援団体と子育て世帯をつなぐオール京都の新しい仕組みづくり
 - 地域の元気な高齢者等による子育て支援
 - 結婚や子育てに対するポジティブキャンペーンの実施
 - 地域団体による青少年の居場所づくり支援
 - 子育て支援企業・団体の認証・表彰 など

4 府民全員参加による元気な京都づくり

若者や女性、高齢者、障害のある方を含め、誰もがいきいきと活躍できる場づくりなどを通し、府民全員参加による元気な京都づくりを推進

- (1) 若者等の能力開発・就業促進
- 「京都府若者の就職等の支援に関する条例」に基づいたキャリア形成から職場定着までの総合的支援
 - 従業員のスキルアップ等に取り組む企業・団体支援
 - 就労環境の改善など中小企業の人材確保支援 など

- (2) 女性の活躍促進
- 地域における女性の活躍を後押しするプラットフォームづくり
 - 企業における女性リーダーの育成支援
 - 子育てしながら働きたい女性の就業支援 など

- (3) 高齢者の社会参加促進
 - ビッグデータを活用した健康寿命延伸・未病改善の実施
 - 高齢者の学び直しと地域貢献活動支援
 - 高齢者の起業・就業支援 など

- (4) 障害のある方の社会参加促進
 - 障害者の芸術活動をサポートする体制の整備
 - 障害者の就業に向けた職業訓練・就業支援
 - 在宅勤務、SOHO など障害者が働きやすい環境の整備 など

- (5) 就労困難者等の社会参加促進
 - 就労・自立に向けた寄り添い支援や中間的就労の場の提供
 - 非行・ひきこもり青少年に対する自立支援 など

- (6) 医療・介護・福祉人材の確保
 - 地域における健康増進・介護予防の担い手づくり
 - 就職相談や就職フェアによる人材と職場のマッチング
 - 医療・介護・福祉の職場の環境改善
 - 認知症対策や看取り等、地域包括ケアを支える専門人材の養成 など

5 京都のまるごとキャンパス化

大学の集積を活かし、京都の各地域をキャンパス化し、大学の力と府民の力が融合することで生まれるイノベーションにより地域や地域産業を支える人材を育成

- (1) 京都まるごとキャンパス化の推進
 - 大学と連携したフィールドワークなどによる地域課題解決のしくみづくり
 - 地域産業を支える人材を育成する大学の拠点づくり など

- (2) 京都企業に対する大学生の理解促進
 - 京都企業による講座の開設やインターンシップ支援
 - 首都圏等における京都の中小企業の魅力発信 など

- (3) 京都の未来を支える留学生の誘致
 - 留学生向けワンストップサービス体制の整備 など

6 自分で働き方をデザインできる柔軟な社会の実現

一人の人間が同時に複数の仕事に携わったり、一生の間に異なる分野の仕事に自分の能力を活かしてシフトできるなど自由で柔軟な働き方のできる社会の実現

(1) 柔軟で新しい働き方の創出

○半農半X^(※2)などの働き方の普及促進

○公共員^(※3)の配置推進

など

(2) 自分の能力を活かせる仕事へのシフト支援

○社会人の学び直し支援（新たな知識やスキル取得等）

など

■基本目標2 地域経済を活性化させ、しごとをつくる

府域のそれぞれの地域で経済を活性化させ、地域に根ざした魅力あるしごとを創出するため、文化をはじめとした地域資源の活用やまちづくりと一体となった産業育成、地域産業のリノベーション、大学等の集積によるイノベーションの創出など、様々な分野において多様で柔軟な施策を推進

施策内容

1 京都の歴史・文化を活かした産業・観光の振興

伝統文化から映画・アニメまで、京都の有する幅広い文化を活かした新たなコンテンツの創造とクールジャパン戦略、インバウンド戦略の推進

(1) 歴史・文化を活かした産業の振興

- 和食のユネスコ無形文化遺産指定を契機とした伝統工芸品等の海外への発信
- 「琳派」などをテーマにしたクール京都産品の販路拡大
- 官民一体の協議会設立による伝統産業の分業体制の維持
- 木の文化を活かした京都の伝統工芸を支える伝統工芸の森などの推進
- 京の伝統野菜の復活や京野菜などの販売力強化による新マーケットの開拓の支援
- 京都倶楽部やジェットロ京都などを活用した海外販路開拓の支援 など

(2) コンテンツ産業の育成

- 京都クロスメディア・クリエイティブセンターによる映像等の制作・販路開拓支援 など

(3) 豊かな自然や文化を活かした観光振興と外国人誘客拡大

- ジオパーク等の豊かな自然を活かした観光の推進
- 和食などの文化遺産を活かした京都ならではの観光の推進
- 酒蔵や伝統工芸の工房などの産業施設観光の推進 など

2 新しい組み合わせによるクロスオーバー産業の育成

農林水産業と観光、観光とスポーツなど異分野・異業種の組み合わせによるクロスオーバー産業を育成し、新たな雇用を創出

(1) クロスオーバー産業の育成

- 機能性食品の開発などの農医連携や農観連携、農商工連携の促進
- ビッグデータを活用した未病改善と産学公連携による新たな健康産業の育成
- 環境と健康を組み合わせた住まいづくりなどのエコヘルス産業の育成
- スポーツ資源の活用による新しい観光の創出

○自然環境やエネルギー資源の活用によるエコエネルギー産業の育成 など

3 地域と産業の一体的発展

次世代のライフスタイルの提案が産業のイノベーションを促すなど、地域づくりと産業のイノベーションが表裏一体で進展する施策を推進

(1) 未来都市づくりと産業創出の一体化

○けいはんな学研都市におけるスマートシティ構想の推進 など

(2) まちづくりと一体となった産業振興

○激辛商店街など、まちのブランドづくりなどによる地域の中小企業の経営支援 など

(3) 地域を支える雇用づくり

○戦略産業雇用創造プロジェクトのセカンドステージの展開などによるオール京都体制での雇用政策と一体となった産業づくり

○観光等のサービス業における生産性向上のための人材育成 など

4 地域産業のリノベーション

異業種連携、知的財産・ICTの活用等による産業のリノベーションを図り、さらなる成長を実現

(1) 中小企業等のリノベーション

○エコノミック・ガーデニングの手法による企業の成長段階に応じた中小企業の支援

○知的財産を活用して競争力向上を図る中小企業の支援

○京都産業育成コンソーシアムによる異業種連携を通じた製品開発等の支援 など

(2) サービス業のリノベーション

○京都産業を牽引するサービス業の育成（プランナー、デザイナーなど）

○サービス業全体の生産性の向上

(3) 商店街のリノベーション

○商店街の特性を活かした商店街活性化

○住民サービスの提供など地域コミュニティ拠点としての商店街の再生

○地域の実情に応じた空き店舗の流動化

○ICT活用等による商店街の基盤整備支援

○外国人観光客の受入体制の拡充

○高齢者等へ商店街による見守り・宅配サービスの構築支援 など

5 農林水産業の成長産業化

オール京都体制で京都らしい農林水産業を実現するため、戦略会議を立ち上げ、京都のブランド力強化、6次産業化、ICTの活用等による生産性向上・成長産業化を促進するとともに、農業・林業・漁業が一体となって次世代型の人材育成を推進

(1) 農業の成長産業化

- ICTやロボット技術を活用したスマートアグリ（ICT活用・茶生産システムの導入等による生産・流通・加工体制の効率化）
- 農地集積や6次産業化による農業所得の倍増
- 成長産業化を担う人材の育成と10次産業化拠点の整備による食関連産業の育成
- 地理的表示制度を活用した戦略的な販売
- 京都ブランド製品の輸出拡大
- 京の農業応援隊結成による伴走型支援体制の構築 など

(2) 成長型林業の推進

- CLTなどに対応する加工・流通体制の強化
- ICTを活用した資源管理システム等による府内産木材の安定供給と非住宅への利用拡大
- スキルアップのための体系的な資格・研修制度や技能試験による林業の担い手（「林業の星」）の育成
- 森の文化を府民ぐるみで育む取組の強化 など

(3) つくり育てる漁業の推進

- 環境ICT技術などを活用したブランド水産物（トリガイ等）の生産拡大
- 漁業・漁村資源を利用した海のビジネス、漁村ビジネスの推進
- 「海の民学舎」などの新規就業希望者へ対する実践的講義・実習の実施と漁村定着支援 など

6 大学・研究機関の集積等によるイノベーションの創発

大学・研究機関の集積等を踏まえた京都ならではの起業、事業承継、事業転換の環境を整備することにより、イノベーションを創発

(1) 大学・研究機関と連携した産業革新

- 地域産業イノベーションセンターの整備
（北部リサーチパーク等の地域の産業に応じた産学共同研究センター）
- 国家戦略特区や国際総合戦略特区を活用した先端医療、健康産業分野等の研究開発成果の事業化（大学のCOI事業等の成果の府内中小企業への還元等）
- 「京都産学公連携機構」による大学の技術シーズを中小企業に技術移転する取組の支援

- けいはんな学研都市等への国内外の研究者の誘致
- 「京都イノベーションベルト構想」の推進 など

(2) 国内外からの対京都投資の呼び込み

- 対日投資センターの設立による外国企業の誘致
- 地域パワーカンパニー（まちの核となる企業）など京都企業の地元投資促進
- 本社機能の移転を含む企業誘致の推進 など

(3) ものづくりやサービス業など幅広い分野の起業、事業承継、事業転換の支援

- 子ども起業塾の創設などの子どもたちからの起業家精神の育成
- ファブラボ100構想などの新しいものづくり起業拠点の整備
- 融資から販路開拓までを含めた起業、事業承継、事業転換の総合支援制度の整備
- 女性のビジネスプランの事業化やネットワーク構築支援
- 文化資源を活用した起業や市場開拓支援
- 大学発ベンチャーの推進 など

7 京都舞鶴港や高速道路等の交流基盤を活かした物流の都づくり

京都縦貫自動車道の全線開通や京都舞鶴港の整備、さらには今後の新名神高速道路等の整備効果を最大限活かし、新たな物流拠点の形成と国際的なネットワークづくりにより地域産業を活性化

(1) 京都舞鶴港を拠点にしたコンテナ・フェリー等の国際航路の開設

- 国際フェリー航路の開設による国際物流・人流の促進
- 国際コンテナ航路開設による物流の促進
- 外航クルーズの誘致による人の流れづくり など

(2) 新しい物流ネットワークや商業・物流拠点の形成

- 南北双眼型物流拠点構想などの推進（新しい物流ネットワークの形成） など

■基本目標3 京都への人の流れをつくる

京都への大きな人の流れをつくり、1970年代後半から続く人口の社会減の流れに歯止めをかけるため、首都機能の双眼化や地方における暮らし方のイノベーション、定住だけでなく交流による活力の向上を図るなど、様々な分野において多様で柔軟な施策を推進

施策内容

1 日本の文化首都・京都の実現

千有余年にわたり都として繁栄し、日本文化のふるさとである京都に、東京とは異なる日本の文化首都を構築

(1) 日本の文化首都づくりの推進

○文化庁等の政府関係機関の移転の推進

○皇族の方に京都にもお住まいいただく「双京構想」の推進 など

(2) 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化の創造と発信

○「2020京都文化フェア（仮称）」等を契機とした文化・芸術の振興

○「琳派」をはじめとした京都の伝統文化の継承・発展

○北山文化環境ゾーンを核とした交流・発信拠点の形成 など

(3) 文化を支える人材育成

○和食の高等教育機関の設立など文化を継承・発展させるための次世代育成

○日本文化財保存修復国際センターなどの文化財修復を担う人材の育成や技術開発

など

2 都市と田園の魅力を享受するニューヒューマンライフの創出

都市と農山村が近接する京都の特性とICTや公共交通を活用し、ゆとりと利便性を兼ね備えた豊かな生活環境を形成

(1) 新しい公共交通のしくみづくり

○交通空白地等におけるデマンド交通システム等の整備

○ICカードやバスロケーションシステム等のICTを活用した公共交通システムづくり

○けいはんな学研都市における新公共交通（スマートモビリティ）のしくみづくり

など

(2) 質の高いゆとりある住環境の整備

- 若者にも魅力のある住宅（ヤングドリームハウス）の整備
- 空家のリノベーションや貸し手・借り手のマッチング支援 など

(3) 充実した教育環境の整備

- ICTを活用した遠隔地教育環境の整備 など

(4) 地域のにぎわい・活力拠点の形成

- 中山間地等における京都府版小さな拠点（地域創造拠点）づくり
- 道の駅や鉄道駅を核とした産業振興・生活サービス提供の拠点づくり など

(5) 府民協働による地域づくり

- 府民公募型整備事業の実施
- 地域力・里力再生活動への支援
- 地域力ビジネス^(※4)の普及促進 など

3 定住と交流を組み合わせた地域活力の維持向上

日本全体で人口減少が進む中、定住人口のみならず多様な地域資源を活用した交流人口の増加や国際交流の促進を図るなど、定住と交流を組み合わせることで、京都の活力を維持向上

(1) 京都へのU I Jターンの促進

- 「京都ぐらし」に関する情報発信拠点の設置や移住の伴走支援
- 空家と農地をセットにした移住促進のしくみづくり
- お試し就業者や受入企業への支援 など

(2) 観光・国際交流の促進

- 広域観光周遊ルート「美の伝説」などを活かした広域観光の推進
- 訪日海外プロモーションや外国人観光客の受入環境整備
- スポーツの国際大会等の誘致
- M I C E誘致の推進
- 観光地における新しいモビリティや美しい景観づくり など

■基本目標4 持続可能で活力のある地域をつくる

一極集中から多軸・多極型の府域構造を実現するため、それぞれの地域の資源や特性に応じた特色ある地域づくりを進めるとともに、地域間の連携を深めることで相乗効果を生み出すなど、様々な分野において多様で柔軟な施策を推進

施策内容

1 地域文化ルネサンスの推進

北から南まで、府内の各地域が有する多様で豊かな文化や地域資源を見つめ直し、「海・森・お茶」の文化を活かした3つの京都づくりや15の「みやこ構想」を一体的・重層的に進めることで、個性を活かした地域づくりを推進

(1) 府内全域で個性と魅力あふれる地域づくりを推進

- 「海・森・お茶」の文化を活かした3つの京都づくり^(※5)の推進
- 各地がみやことして輝く15の「みやこ構想^(※6)」の推進

(2) 地域文化・芸術の振興

- 「1まち1アートづくり」などの地域の芸術家等の創作・発表活動への支援
- 空家や廃校を活用したアーティスト・イン・レジデンスの推進 など

2 連携都市圏づくりの推進

中小都市それぞれの個性や資源を活かしながら、相互に役割を担い、圏域として都市機能や生活サービスの向上を図る連携都市圏の形成を推進

(1) 市町村の広域的な地域づくりの支援

- 北部7市町が推進する「京都府北部地域連携都市圏」等の形成支援 など

3 都市・農村の一体的整備

都市と農村が隣接する地勢条件等を踏まえ、双方の地域特性を活かしつつ、相互の機能を補完し合う都市・農村の一体的整備を推進

(1) 都市・農村交流の促進

- 貸し農園、農家民宿、農家レストラン、農家オーベルジュ等の設置促進
- 空家等を活用した都市住民の週末居住の促進
- 自然の中で余暇を過ごす農林漁業体験の推進
- 京都縦貫自動車道を基軸とした「京野菜ランド」など各地の特産物の販売拠点整備 など

4 地域間モビリティの強化

交通基盤の整備等をさらに推進し、府域全体の移動にかかる時間距離を短縮するとともに、二地域居住を促進

(1) 広域的な交通基盤の整備

○府域全域通勤圏構想などの通勤圏の拡大に資する J R 線等公共交通ネットワークの整備

○山陰近畿自動車道、新名神高速道路、宇治木津線等の地域連携を支える道路の整備

など

(2) 二地域居住など新しい居住スタイルの普及促進

○二地域居住住居等の取得支援

など

～地域の将来像～

1. 各地域の将来像

(「『明日の京都』中期計画・地域振興計画」及び「京都ビジョン2040」に基づく)

丹後地域

地域の特性

歴史と伝統に培われた技術を活かした様々な産業が展開されるとともに、海と山等の自然、歴史と文化等、多くの魅力ある地域資源があり、環境、文化、福祉、地域振興等様々な分野で、多くの人々が、いきいきと活動されている地域

地域の将来像

「交流」と「共感」による「美しく元気な丹後」の実現

- ◆交流人口の増加による地域活性化、織物業や機械金属業をはじめとする地域基幹産業の振興、「食」を生み出す農林水産業の一層の発展により、活力ある地域をつくる
- ◆未来を担う若者が地域に誇りと愛着を持ち、子どもから高齢者までだれもが安心していきいきと暮らせる元気な地域をめざす

主な施策

- ◆地域の魅力を結集した観光ゾーン形成
 - 「海の京都」構想の推進
 - 「日本海観光構想」の推進
- ◆「食」の魅力発信や生産力強化
 - 「丹後・食の王国構想」の推進
- ◆ものづくり産業等地域産業の振興
 - 「丹後・知恵のものづくりパーク」の技術支援・人材育成の拠点化
 - 新丹後ブランド創出プロジェクトの推進
- ◆産業振興、観光を支える道路・鉄道の整備推進
 - 山陰近畿自動車道の整備
 - 鉄道の利便性と魅力の向上

中丹地域

地域の特性

豊かな自然を背景に、丹波と丹後の個性あふれる生活・文化・経済圏を形成。現在では、多くの企業が集積する複数の工業団地を有するなど、関西北部・日本海側の中核的な地域であり、高速道路や京都舞鶴港等のインフラ整備が着実に進んでいる地域

地域の将来像

関西広域交流時代の「みやこ」をめざして

- ◆豊かな自然と先端産業が共存する特性をいかし、磨きながら、中丹地域に住む人々にとって、この地域こそが輝かしい「みやこ」であると思えるような地域づくりを進める
- ◆関西北部・日本海側の活性化の原動力となり、国際的に人・文化・産業・情報が交流する「みやこ」となることをめざす

主な施策

- ◆交流人口の獲得・拡大と地域の活性化
 - 「海の京都」構想の推進
 - 外航クルーズの誘致拡大

- ◆森林文化の発信と林業の活性化
 - 「森の京都」構想の推進
 - 循環型林業の推進
 - 「由良川里山回廊構想」の推進

- ◆ものづくり産業の中核拠点の形成
 - 「北京都ものづくり拠点構想」の推進

- ◆京都舞鶴港を通じた交易の活発化
 - 「京都舞鶴港ランドブリッジ構想」の推進
 - 新しいフェリー航路の開設

- ◆国と連携・協力した日本海側におけるエネルギー供給体制の整備
 - メタンハイドレートの開発
 - LNG基地や天然ガスパイプラインの整備

- ◆鉄道の活性化と利用拡大
 - JR山陰本線等の鉄道の利便性の向上
 - 京都丹後鉄道の利用拡大

南丹地域

地域の特性

芦生原生林等の緑豊かな自然、小豆・黒大豆等の農林水産物、教育・文化・スポーツ・観光等の今ある地域資源と京都縦貫自動車道や大規模スポーツ施設の建設等の新たな交流基盤を最大限に活かし、地域のあらゆる人や団体の力を結集した地域づくりが求められている地域

地域の将来像

京都丹波の資源（たから）を活かし交流・活力の森の京都

- ◆互いに支え合い、みんなでつくるいきいきと暮らせる「京都丹波」
- ◆技や知恵が輝き、ひと足のばしですぐに手が届く「京都丹波」
- ◆地域資源や特性・強みをいかし、若い世代が定住できる農林業のステップアップと新たな産業興しを行う「京都丹波」
- ◆様々な交流があり、だれもが安心・安全・快適に暮らせる「京都丹波」

主な施策

- ◆森の恵みを活かした産業の活性化、交流スタイルの形成
 - 「森の京都」構想の推進
 - 「京都丹波『食と森の交流の都』構想」の推進
 - 「京都丹波」ブランドの国内外への発信
 - 循環型林業の先進地づくり
 - 木材や木質バイオマスの利用拡大による地域経済の活性化
- ◆教育・文化・スポーツ等の地域資源を活かした新しい産業の創出
 - 「新京都伝統工芸ビレッジ構想」の推進
 - スポーツ観光の推進
 - 大規模スポーツ施設の整備
- ◆「食」や「森」を活かした京・里山のおもてなし
 - 「森と水の恵みの京丹波プロジェクト」の推進
 - 京都丹波スタイルの食育のまちづくりの推進
 - 「京都丹波交流滞在型クラインガルテン」の整備

京都市域

地域の特性

千年以上にわたって都であり、伝統産業から先端産業まで様々な産業を輩出するとともに大学の集積により内外から多くの学生、研究者が集い、切磋琢磨する地域

地域の将来像

世界交流首都・京都

◆世界の文化首都・京都

皇族の方を京都にお迎えし、日本文化の裾野を京都から拡大して、多様な人材が活躍する文化のまち

◆大学のまち・京都

京都全体をキャンパス化し、世界中から集う学生・研究者・芸術家や地域住民などあらゆる人々が活発に交流し、社会課題を解決するとともに、新たな知見を生み出す大学のまち

◆価値創造都市・京都

時代の変化の先頭に立ち、知恵と技術で価値を創造し続け、世界の産業と生活革新をリードするイノベーションの都

主な施策

◆日本の文化首都づくりの推進

- 文化庁等の政府関係機関の移転
- 「双京構想」の推進
- 「北山文化環境ゾーン構想」の推進

◆大学のまち・京都の推進

- 留学生向けワンストップサービス体制の整備

◆次代を牽引する京都経済・産業の振興

- 「知恵産業首都構想」の推進
- 「京都クロスメディアパーク構想」の推進
- 「京都イノベーションベルト構想」の推進

山城地域

地域の特性

全国的に有名な宇治茶や品質の高いタケノコ、都市近郊における野菜の生産地であるとともに、関西文化学術研究都市、ものづくり企業、様々な歴史的文化遺産等、多種多様な特色があり、関西の交通の結節点としての整備が進む地域

地域の将来像

豊かな自然と文化をいかし、一人ひとりが安心とにぎわいを実感できる希望の山城づくり

- ◆一人ひとりが支え合い、だれもが安心して暮らせる地域
- ◆思いやりにあふれ、だれもがいきいきと活躍できる地域
- ◆人・もの・情報の交流が盛んな、にぎわいを実感できる地域

主な施策

- ◆お茶の文化・魅力を体感する大交流圏の形成
 - 「お茶の京都」構想の推進
 - 「宇治茶の郷づくり構想」の推進
 - 茶文化・魅力の発信による交流エリアの創出、観光誘客の推進
- ◆研究機関等の集積や研究成果を活かした新産業創出
 - けいはんな学研都市における「スマートシティ構想」の推進
 - 「京都イノベーションベルト構想」の推進
 - 「環境・アグリバイオパーク構想」の推進
 - 「学術研究・未来の都構想」の推進
- ◆交流と活力を生み出す広域交通網の整備
 - 新名神高速道路・宇治木津線等の整備の促進
 - JR奈良線の高速化・複線化第二期事業の促進
- ◆物流ネットワークの構築
 - 関西交通の結節点の地の利を活かした物流拠点の形成
- ◆京都の西の玄関口の整備
 - 「京都乙訓ダイナミックシティーズ構想」の推進
- ◆都市・農村交流の促進
 - 農家民宿の開設や地元農産物を活用した農村ビジネスの展開
 - 都市住民の週末居住の促進
 - 都市発の科学技術による農業のICT化

2. 「『海・森・お茶』の3つの京都づくり」及び「15の『みやこ構想』」との連携

上記の将来像の下で、海、森、お茶といった広域振興のまちづくりコンセプトを明確にし、さらに広域的なエリアでの取組に拡大することをめざす「『海・森・お茶』の3つの京都づくり」や、地域の個性や資源を活かして各地が「みやこ」として輝くことをめざす「15の『みやこ構想』」を推進

3. 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等との協調

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、東京一極集中の是正を図る文化庁等の政府関係機関の移転、「京都府北部地域連携都市圏」形成支援など、施策を深化

<注>

※1 ライフデザイン

就学、仕事、結婚、子育てなどのトータルの人生設計

※2 半農半X

「農業と芸術」「農業とNPO活動」など複数の分野で活動する人

※3 公共員

自分の仕事を持ちつつ、公務員として地域課題の解決に長期的に取り組む人

※4 地域力ビジネス

京都式ソーシャル・ビジネス。府民自身がビジネス的な手法により新しい仕事や働き方で地域課題を解決

※5 「海・森・お茶」の3つの京都づくり

<①海の京都づくり>

「海の京都観光圏」など観光地域づくりを進める府北部地域における産業・観光振興等

<②森の京都づくり>

国定公園指定や全国育樹祭を契機とした自然環境保全や林業振興をはじめとする森の恵みを活かした地域づくりを進める府中部地域における産業・観光振興等

<③お茶の京都づくり>

茶文化の維持・承継や茶畑景観等の地域資源を活用した大交流圏づくりを進める府南部地域における産業・観光・文化振興等

※6 「みやこ構想」

<①丹後・食の王国構想>

丹後・食の王国構想のもと、丹後の豊かな食材をいかし、高品質でブランド力の高い商品の開発など、食関連ビジネスの創出等を推進

<②日本海観光構想>

山陰海岸ジオパークや天橋立等の自然、伊根の舟屋、ちりめん街道等のまちなみ、ロマンあふれる丹後の歴史と文化等の資源を活かすとともに、「食」関連産業とのリンクにより、観光誘客を推進

<③京都舞鶴港ランドブリッジ構想>

日本海側拠点港である京都舞鶴港を核として、関西一円とアジア・ヨーロッパ地域とを結ぶ壮大な国際ランドブリッジの形成をめざし、物流のルートを開拓・構築しながら、国際フェリーや外航クルーズの基地化・エコポートを推進するとともに、京都舞鶴港ベイサイドパーク内への企業誘致等を推進

<④北京都ものづくり拠点構想>

福知山市、舞鶴市、綾部市にある工業集積と、大学や高等専門学校等の人材育成機関を活かしながら、府北部地域におけるものづくり産業の中核拠点の形成をめざし、企業活動の支援やイノベーションによる企業成長支援、新たな企業の誘致、高度なものづくり人材の確保・育成、産学公連携共同研究開発等を推進

<⑤由良川里山回廊構想>

中丹地域にある海、川、里、山、歴史、風土、伝統、文化等の資源をいかし、人、もの、情報等のネットワークの「回廊」の形成をめざしながら、自然や人々の絆を大切に、都市との交流の促進、農林水産業、ものづくり産業、観光やニューツーリズム振興等を推進

<⑥京都丹波「食と森の交流の都」構想>

芦生原生林や里山等の豊かな自然や丹波黒大豆や京野菜、丹波くりのような京の食文化を支える高品質な農林畜産物等の豊富な地域資源を総合的に活かして、これまでの都市・農村交流の取組を更に促進し、交流人口の拡大や京都丹波産農林畜産物の生産・販売拡大による地域の活性化を推進

<⑦新京都伝統工芸ビレッジ構想>

民間の活力を活かし、平成24年4月に開学した京都美術工芸大学や京都新光悦村に立地する企業等の産学連携等を進め、京都丹波地域に、人づくりからものづくりまでを担う伝統工芸の新しい拠点を形成

<⑧北山文化環境ゾーン構想>

北山地域において、国際京都学センターを新たに設置する新総合資料館（仮称）、教養教育共同化施設、府立植物園を核として、府民の憩いの場であるとともに、文化・環境・学術の新たな交流・発信拠点となるゾーンを形成

<⑨京都クロスメディアパーク構想>

太秦地域に映画制作・編集・配信等の技術開発や、コンテンツ系ベンチャーの育成支援、国際交流、観光振興、人材育成等の機能をあわせ持つ一大メディア産業拠点を形成

<⑩知恵産業首都構想>

次代を切りひらく産業イノベーションをリードする「京都産業育成コンソーシアム」を創設し、知恵を集め、知恵を学び、知恵を活かす中小企業が元気に世界で活躍する知恵産業のまち・京都を形成

<⑪京都乙訓ダイナミックシティーズ構想>

京都市に隣接し、竹をはじめとする豊かな自然や優れた歴史文化資産、世界的な先端企業の立地に恵まれるとともに、京都第二外環状道路（にそと）・京都縦貫自動車道の開通等により、府域の東西南北を結ぶ新たな交通の要衝地になりつつある乙訓地域に、観光、産業等の高次都市機能が集積し、向日市・長岡京市・大山崎町の都市連携により、京都府の新たな成長核としてダイナミックに発展する圏域を創出

<⑫宇治茶の郷づくり構想>

日本を代表するブランドである宇治茶を核として、JR 奈良線の複線化とタイアップしながら、観光振興、ブランド農産物輸出、集客ビジネスなどを一体的に推進

<⑬京都イノベーションベルト構想>

地域の企業間の連携を進め、高度な技術と国際的な競争力を備えた製品開発等を重点的に支援し、京都経済の牽引エリアとしての一層の成長を推進

<⑭学術研究・未来の都構想>

関西文化学術研究都市において、世界レベルの情報や環境、健康（医療）、農業（食）などに関する科学技術の粋を結集し、科学技術と生活文化が融合した新たな都市を創造

<⑮環境・アグリバイオパーク構想>

関西文化学術研究都市において、環境・アグリバイオの研究拠点を整備し、関連する研究機関や研究開発型産業施設が集積する国際研究開発拠点を形成